



# 集まる力、届ける心

# 今、私たちにできること

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震で壊滅的被害を受けた東北地方。被災地の一日も早い復旧・復興を願って、市民の皆様から善意の支援が多数寄せられています。未曾有の災害に、かつてない危機に直面している日本。「今、私たちにできること」をスローガンに、市内で展開されている支援活動の一部をご紹介します。

## 集まる力

### ■義援金を届けよう

平島小学校は、総合的学習の時間に自分たちが栽培した「わかめ」や「しいたけ」の売上金の一部を、阿南市婦人連合会は、各地区婦人会が集めた206万円をそれぞれ阿南市社会福祉協議会へ寄託しました。市内の高校でも、生徒会などが中心となって義援金が集められました。

### ■救護物資を届けよう

市が3月14日に設置した「被災地支援本部」にも、市内の事業者や市民の皆さんから、多くの救護物資が届けられています。3月26日には、飲料水415本、マスク2万7052枚、オムツ1万4705枚、カップ麺1626食、粉ミルク103缶を宮城県気仙沼市へ送り届けました。

### ■さまざまな支援の手を届けよう

災害ボランティアの相談も寄せられています。また、市ボランティア連絡協議会では、一時的な避難者の受け入れについて検討が進められています。

## 届ける心

### 平島小学校4年生一同

「私たちにできることを考えました。1人でも多くの人に助かってほしいです。」

### 石橋尚道さん(阿南工業高3年)

「一日も早くもと通りの生活に戻ってほしい。高校の部活動への影響も心配です。」

### 丸山大貴さん(富岡西高3年)

「私たちにできることを考えました。前を向いて一歩一歩がんばってほしいです。」

### 折目舞香さん(富岡西高3年)

「小さいことかもしれませんが、力と勇気になればいいです。」

### 梶本修平さん(富岡東高3年)

「無心で取り組みました。みんなの気持ちが届くといいです。」

### 吉積和弥さん(富岡東中2年)

「被災地の1日も早い復興を願っています。」

### 尾崎範子さん(市婦人連合会長)

「婦人会が募金集めしなくてどうするん。」との一般会員からの後押しで、1人1人の心を届けることができました。

### 美馬育子さん

(市ボランティア連絡協議会長)  
何かしたい！そんな思いの阿南市民の輪が広がり、被災された方をホームステイで受け入れようという準備を進めています。



救援物資をトラックに積み込む市職員。

市は、被災地の生活支援や復興支援として義援金1千万円を送ることを決め、3月24日、市議会3月定例会に提案。全会一致で承認を受けました。財源は平成22年度の予備費を組替えて支出することとし、3月25日に日本赤十字社徳島県支部に送金しました。

また、3月14日に「被災地支援本部」を設置して、相談窓口を開設。市民の皆さんや事業所などから届けられた義援金や救援物資などをお預かりしています。3月26日には救援物資をトラックに積み込み、宮城県気仙沼市へ送り届けました。

### 一日も早い復興を願って



市議会で提案理由を述べる岩浅市長。

### 【被災地支援相談窓口】

設置時間 平日9:00～17:00

- 全般・総合窓口  
市民安全局 (☎22-9191)
- 救援物資の支援  
地域支援課 (☎22-7404)
- 災害ボランティア・義援金  
阿南市社会福祉協議会  
(☎23-7288)

義援金	5,646,206円
救援物資	
飲料水	415本
カップ麺	1,650食
紙おむつ	17,092枚
マスク	27,052枚
粉ミルク	105缶
災害ボランティア登録	2人

4月15日現在の受付状況等は、次のとおりとなっています。  
ご協力ありがとうございます。

### 被災地支援本部に届けられた義援金等

**緊急援助活動に参加**

市は、県からの要請を受け、3月14日から8日間、緊急消防援助隊活動に消防署職員(救急隊)3人と県消防防災航空隊から1人が参加しました。また、一般事務職員及び保健師の災害派遣も行っています。



募金を届ける富岡東中・高校生の皆さん。



市婦人連合会から義援金を受け取る岩浅市長。



義援金を手渡す平島小学校の児童の皆さん。



市ボランティア連絡協議会の会議のようす。



募金を集計する阿南工業高校生徒会の皆さん。



富岡西高校の生徒会とJRC部の皆さんが、募金を呼びかけるようす。



市内業者から支援物資が届けられました。